

(仮称)鯉淵南友部線整備事業に伴う第3回説明会 議事録

日時:令和8年5月24日(日)午前10時00分～午前10時30分

場所:友部公民館 大ホール

【道路計画案の概要について】

- ・道路延長、道路幅員等は、別紙事業概要のとおり。
- ・JR常磐線の跨線橋について、橋長は約160mで、線路と並行している南側の市道から約13m高くなる。
- ・市道(友)1級5号線との交差点について、現在の道路より約6.0m高くなるが、立体交差はせず、平面交差とする。側道があるため農作業時にも今までどおり通行できる。
- ・終点の市道(友)1級3号線との接続について、涸沼前川を越す江戸橋の架け替えを行い接続する。

【今後の予定について】

- ・令和8年6月から用地測量業務において現地の立ち入りをさせていただく。
- ・令和8年9月頃から11月頃に境界の立会確認を対象者及び隣接者をお願いしたい。(境界の立会確認については、事前に連絡をする。)
- ・令和8年度は用地測量のほか、物件の補償調査、土地評価、排水設計、パイプライン移設設計を行う。

【質疑応答】

Q1.信号機の設置位置は。

A1.既存の県道友部内原線との交差点、市道(友)1級5号線との交差点、県道杉崎友部線との交差点、市道(友)1級3号線との交差点の4箇所について、茨城県警察本部と交差点協議をしており、信号機の設置要望をしている。

Q2.今後、県立中央病院が移転すれば県立中央病院周辺の交通量は減るのではないか。

A2.交通量は減る見込みではあるが、跡地利用の観点から道路整備は必要と考えている。

Q3.鴻巣跨線橋周辺、友部第二小学校周辺の県道平友部停車場線と市道(友)1級9号線の交差点の渋滞は朝の時間帯だけなのに、道路を作るメリットはあるか。

A3.友部第二小学校付近のほか数箇所の渋滞対策として、交通量調査を行い今回の道路計画を行った。その後、県立中央病院の移転の話がでたが、県立中央病院の跡地利用や将来的なことも踏まえ、道路の必要性があると考えている。

Q4.土地改良区の排水について、時期によって逆流する箇所や田んぼが浸水する箇所がある状況なので、現地確認のうえ進めていただきたい。

A4.ご意見を踏まえ、パイプラインの設計もあるため、土地改良区の方々にご相談させていただき、現地確認しながら事業を進める。

Q5.側道について、なるべく高くしないでほしい。土手の管理する部分を減らしてほしい。

A5.側道については、現在通行している道路と同じ高さで計画している。土手については、防草対策を含め管理しやすいよう検討していく。